力いただき、無事に終了した。感謝している。

問　身近なイベントとしての取組は。

答　市民文化祭への皆様からの反応より、身近な取組が求められていると感じた。文化芸術に触れる機会を増やすことを目的に、こもれびホールのピアノを活用した誰でもピアノという取組を指定管理者と協力をし、開始した。

大学生等若者向け緊急食料支援

問　担当課の評価は。

答　食料支援を通じ、生活に困窮した際の相談窓口を若者に周知できたこと、その後の相談支援につながったことなどを総合的に評価している。

問　支援に当たって支出はあるか。

答　主立ったコストはかかっていない。

駅前の清掃・老朽化対応・にぎわいの創出

問　駅前広場の清掃状況と老朽化への対応は。

答　田無駅北口と保谷駅南口のペデストリアンデッキを中心に、毎日水拭きや掃き掃除等を実施。素材ごとの清掃方法を検討し、利用状況を踏まえ順次実施していく。外壁は、薬剤、塗料等が飛散しないように密閉する必要があるため、足場の設置等が必要と考えている。今後も駅前歩道等は、定期的な清掃に加え、各駅を気持ちよく利用できるよう適切な清掃に努めていく。

問　ひばりヶ丘駅南口の駅前のにぎわいの創出の検討状況は。

答　野菜の販売、選挙関係の啓発イベント等を実施し、有効活用を検討してきた。にぎわいの創出に向けては、市民の声を聞くことが一番大事であり、総合計画の中でヒアリングを行っている。また、他市の事例も参考にしながら検討を進めている。

ひばりヶ丘駅南口

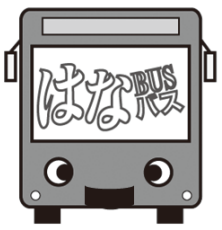
コミュニティバス「はなバス」

問　運行状況に関する、地域公共交通会議での議論内容はどのようなものか。

答　地域公共交通会議では、経費削減の取組として、利用実態に即した運行ダイヤの見直し、利便性向上による運送収入の確保を目的としたバス停の新設などについて協議を行ってきた。コロナ後の市民の行動変容による利用状況を確認するため、乗降調査を実施し、現在集計を行っている。調査結果や新たな交通計画の中で、市内公共交通のネットワークの整理を併せて検討していく。

問　車内広告の実績は。

答　運送雑収入は、車内広告と車内放送広告であり、令和3年度は81万7千500円。本年度は約89万円の見込み。広告の掲載状況としては、現在ほぼ満枠となっている。



学校でのタブレット

問　主体的・対話的で深い学びに結びつけるタブレットの利用方法とは。また、導入後1年経過したが、その評価と今後の活用は。

答　これまで本市は様々チャレンジをしながらタブレットの効果的な活用方法を研究してきた。タブレットの取扱い方については、GIGAスクール構想の研究指定校として、中原小学校と田無第二中学校が研究を進めている。他校においても、各授業の中で、使う場面・使わない場面を子どもと一緒に考えるよう指導・助言をしている。教育委員会が指導・助言をするだけでなく、指導課長や統括指導主事等が学校に行き、状況を確認し、適切なアドバイス等をするなど、これまで以上に進めてまいりたい。

交通擁護員と通学路

問　交通擁護員の配置箇所は。

答　令和2年度は69か所、令和3年度は68か所で、1か所の減。これは中原小学校移転に伴う加配措置の解消による。

問　交通擁護員と通学路合同点検との関連性は。

答　北町4丁目の箇所については、今年度実施した通学路合同点検にて、学校からの点検箇所候補に抽出されている。交通擁護員の配置の要望はないが、足跡マークの設置や、停止線等の再溶着の要望を頂いた。

問　危険なブロック塀の所有者への働きかけは。

答　市長部局・教育委員会の通学路合同点検の結果等も共有し、戸別訪問等をし、所有者に安全対策の必要性について啓発活動等を行っている。

小中学校トイレの洋式化

問　洋式化のアンケートと今後の方向性は。

答　教育部局に報告していし、市長部では各フロア1か所の洋式化を考えている。小学校の成長過程で柔軟中学校できるため、全ての対応ができない。

体育実技用具等の就学援助

問　援助内容の検討状況は。

答　近隣自治体の状況等も調査し、検討していく。

修学旅行

問　修学旅行を実施した学校とそうでない学校がある。学校によって差が出たことについて、市の見解は。

答　当初の計画から宿泊数を減らし、場所を変更するなど工夫した。各学校で差ができてしまったことは、大変申し訳なかった。

不登校児童への寄り添い

問　学校に来たり来なかったりという子どもへの組織的な対応は。

答　担任、養護教諭などが児童生徒の欠席などに対しての理由や状況を把握し、不登校の予兆がある場合などには児童生徒一人一人の状況に応じて対応している。また、欠席が続く背景を校内で検討し、児童生徒及び保護者に対して適切な関わり方を組織的に行うとともに、必要に応じてスクールカウンセラーなどと連携して、児童生徒の心に寄り添い、早期の対応に努めている。

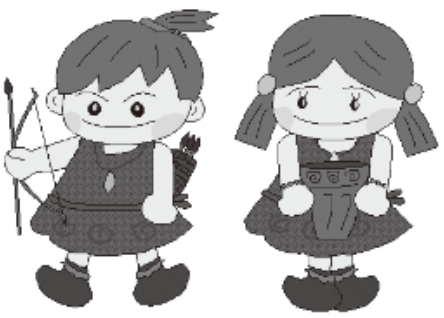
下野谷遺跡の整備

問　整備後の市民からの評価は。

答　トイレ棟の近隣住民からは、便利になった、きれいに使われている、安全面対策をしてほしいなどの意見を頂いている。

問　ガイダンス施設の整備状況は。

答　史跡下野谷遺跡整備基本計画にて、下野谷遺跡の展示や解説だけでなく、史跡の管理等、市民活動の拠点になるガイダンス施設を史跡整備の一環として設置することを掲げている。今後、場所・時期等も含め、具体的な検討を進めていく。


©T&K/西東京市

公民館のトイレの洋式化

問　進行状況は。

答　本年3月末現在、公民館6館全体の洋式化率は約90％。

【結果】賛成多数で認定

◆**国民健康保険特別会計**

【結果】賛成多数で認定

◆**駐車場事業特別会計**

◆**介護保険特別会計**

【結果】賛成全員で認定

◆**後期高齢者医療特別会計**

【結果】賛成多数で認定

◆**下水道事業会計**

【結果】賛成全員で認定

議会運営委員会の審査から

議案や皆さんから提出された請願・陳情は、原則として所管の常任委員会等で審査を行います。

ここでは、第3回定例会における議会運営委員会での主な審査内容についてお知らせします。

◇審査内容の詳細は会議録に掲載します。

議会運営委員会

「西東京市議会の予算特別委員会・決算特別委員会のインターネット中継の実現を求める陳情」

【趣旨】予算特別委員会・決算特別委員会を常任委員会と同様にインターネット中継を求めるもの。

【主な意見】

意見　基本的には賛成だが、現行の予算特別委員会の一般会計当初予算の審査日数が6日間、議員一人の持ち時間120分では明らかに時間が足りず、誰かが質疑ができないという不公平な状況にある。全員が公平に質疑時間を持てるように調整をした上で、インターネット中継をするべき。

意見　これまでも質疑時間が大きな問題になり、その中で、会派持ち時間制など、皆さんの総意で少しずつ変えてきたので、今回もそのようにやっていけば時間をきちんと整理できる。これらが解決すればインターネット中継には反対ではない。

意見　常任委員会のインターネット中継が始まっているが、こちらは今も試行実施であり、一度、議会運営委員会で検証をして、その中で予算・決算特別委員会についてインターネット中継をやっていくか検討すべき。

意見　現在課題となっている、インターネット中継に至らない条件を解決していくことを優先して調整した上で、速やかに実行していくべき。

意見　本市の予算特別委員会は、正副議長を除く全議員が委員となっているが、他市では、委員会によっては全議員ではないということも聞いている。審査日数や質疑時間を考えると、今の段階で、インターネット中継で全委員が質問をするのは難しい。

意見　今は委員会のインターネット中継の議論のさなかで、常任委員会の中継の試行をしている段階だと考えている。引き続き精力的に、全会一致でインターネット中継ができる前提条件を議論していく必要がある。

【結果】賛成全員で「質疑時間等をはじめとした課題を解決し、予算・決算特別委員会のインターネット中継の早期実施に取り組む。」との意見を付し、趣旨採択

現在行われている常任委員会インターネット配信の様子